

特集

在宅で肺炎を

予防・改善・治療する！

「それでも食べたい」との両立も

現在、日本人の死因は、がん・心疾患に次ぎ「肺炎」が第3位。長らく3位だった脳血管疾患を2011年を境に上回りました。しかも、肺炎で亡くなる方の95%以上を「高齢者」が占めており、高齢者に限ってみると第1位です。

在宅高齢者が「入院」を余儀なくされる原因になることも多く、「寝たきり」への転機となることも少なくありません。その多くは「誤嚥性肺炎」ですが、繰り返し返される肺炎を恐れて、「口から食べたい」という思いを叶えられなくなること……。

しかし、肺炎を「予防」する方法は、さまざまあります！

口腔ケアや呼吸ケア、経口摂取を含め栄養状態を良好に保つこともそのひとつ。症状が出にくい高齢者肺炎を早期発見できる日頃からのアセスメントも重要です。

早期治療と並行しての早期ケア、早期離床・早期経口摂取再開など、早め早めの対応で、その後の生活を改善できます。

食の楽しみを味わってほしい。でも、肺炎がこわい……。

そんな葛藤に向き合い、「肺炎」を在宅で予防・改善・治療するための、あらゆる対策を総復習する特集です。